

肝臓病の最新治療を知る

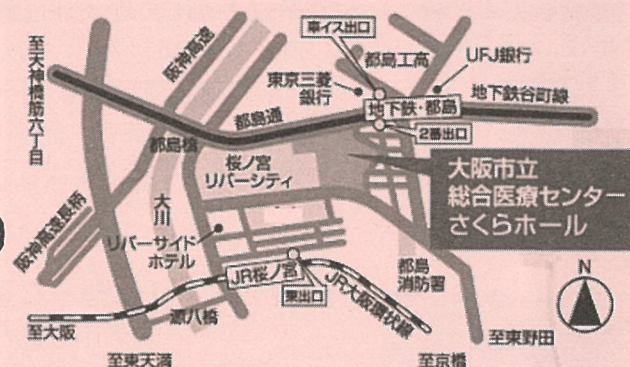
～市民公開講座～

参加無料
先着300名様
事前申込不要

日 時: 2015年11月9日(月)
14時～16時 (開場13時30分)

場 所: 大阪市立総合医療センター
さくらホール

大阪市都島区都島本通2-13-22



アクセス: 地下鉄谷町線都島駅下車2番出口より徒歩3分
JR環状線桜ノ宮駅東改札より徒歩7分

開会挨拶: 市立総合医療センター消化器センター部長 西口幸雄 氏

総合司会: 大阪肝臓友の会 潤田久美子 氏

講演 1

『肝がんに対する最新の外科治療』

市立総合医療センター 肝胆膵外科 部長 金沢景繁 氏

講演 2

『B型・C型肝炎の最新の治療と発がん抑制』

市立総合医療センター 肝臓内科 部長 木岡清英 氏

講演 3

『肝硬変の再生治療』

大阪市立大学医学部肝胆膵内科 客員教授

吉里勝利 氏

～休憩10分～

Q & A

『患者さんの疑問に答える Q&A』

パネリスト: 講師の先生方

閉会挨拶: 大阪肝臓友の会 会長 佐古健太郎 氏

* 交通費・駐車場代金等はご自身でご負担ください。

お問い合わせ先: ■ 大阪肝臓友の会 Tel.06-6534-0660(月・水・金 13-16時)
Fax. 06-6534-0663 E.mail osaka@kanzo.org

■ 大阪市立総合医療センター (代表Tel 06-6929-1221)

主催: 大阪肝臓友の会、大阪市立総合医療センター

講師紹介

講演テーマ「肝がんに対する最新の外科治療」

大阪市立総合医療センター 肝胆膵外科 部長 金沢 景繁 氏



肝がんに対する治療法のうち、肝切除術は最も根治性の高い治療法ですが、肝予備力の低下した肝硬変の患者様には負担が大きく、手術できないことが少なくありません。大阪市立総合医療センターでは、負担の少ない新しい外科治療である腹腔鏡下肝切除術をいち早く取り入れ、肝硬変の患者様にも多く施行しています。患者様にも、肝臓にも優しく、安全で根治性の高いこの手術について解説します。

講演テーマ「B型・C型肝炎の最新治療と発がん抑制」

大阪市立総合医療センター 肝臓内科 部長 木岡 清英 氏



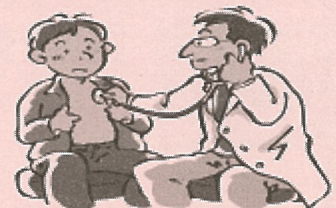
わが国の肝がん（肝細胞癌）の約9割はB型およびC型肝炎が成因であり、B型およびC型肝炎ウイルスを抑制すれば、肝発がんが抑えられると考えられています。最近のB型およびC型肝炎に対する抗ウイルス療法の進歩は目覚ましく、適切な時期に治療すれば、ほぼ全例でウイルスの排除または増殖抑制が可能になっています。本講演ではB型・C型肝炎の最新治療と肝発がん抑制について解説します。

講演テーマ「肝硬変の再生医療」

大阪市立大学医学部肝胆膵内科 客員教授 吉里 勝利 氏



重い肝硬変患者には、これまで肝移植しか根本的な治療手段がありませんでしたが、最近iPs細胞技術や骨髄細胞の移植などによる治療研究が進められています。大阪市立大学では、肝臓の線維化を抑制する機能を持った組織を移植することで肝臓の環境を改善する治療法の研究を進めています。これらの再生医療について説明します。



大阪市立総合医療センターの 患者相談支援について

1階の総合医療相談窓口で患者さんやそのご家族から様々な相談を受けております。

相談内容は、肝臓病教室について、治療や療養について、在宅医療について、福祉相談、医療相談、がん相談など。必要に応じて専門の担当者が対応いたします。相談予約も可能です。

○ 窓口開設時間：月～金 9時～17時
（但し、土・日・祝日・年末年始は休み）

